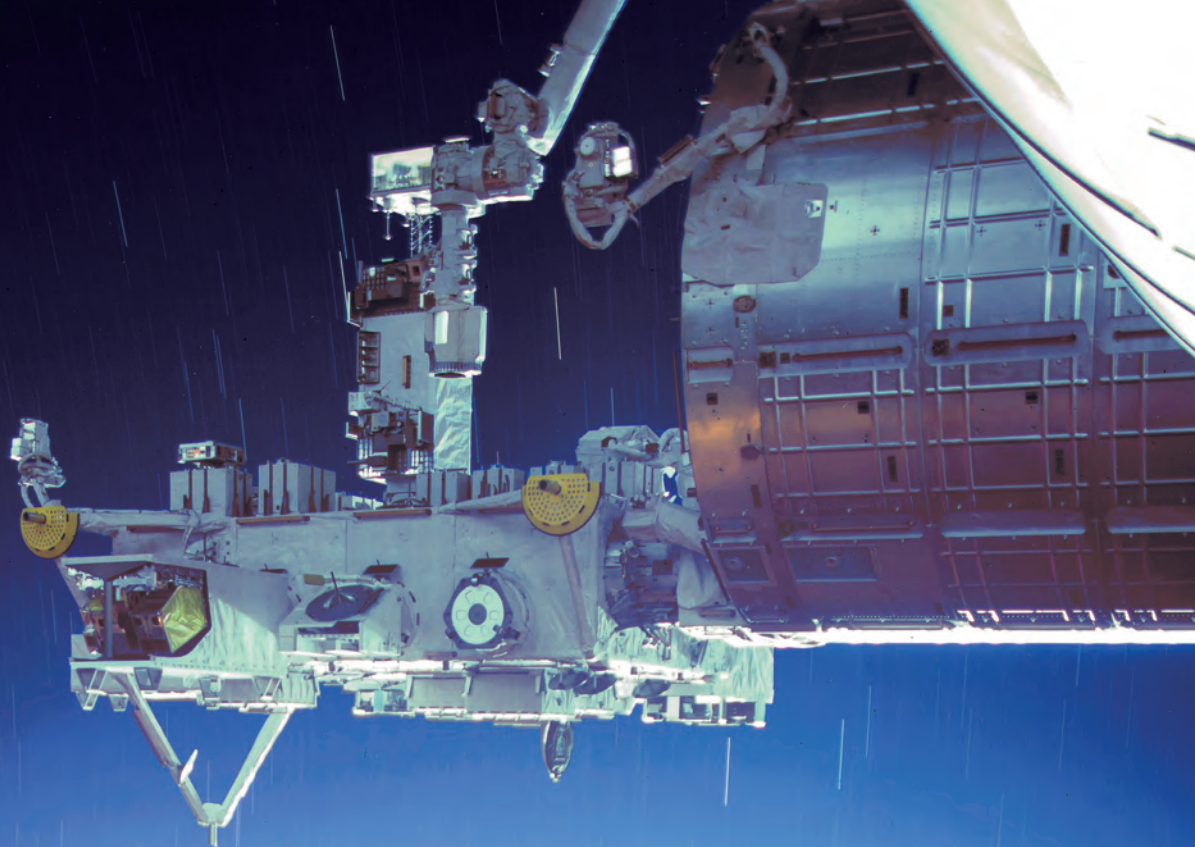


広がる「きぼう」利用の未来



国際宇宙ステーション

「きぼう」利用シンポジウム

2019年2月12日(火)・13日(水)

会場 Link-J 日本橋ライフサイエンスハブ
室町ちばぎん三井ビルディング 8階 (COREDO 室町3)
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-5-5

主催 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

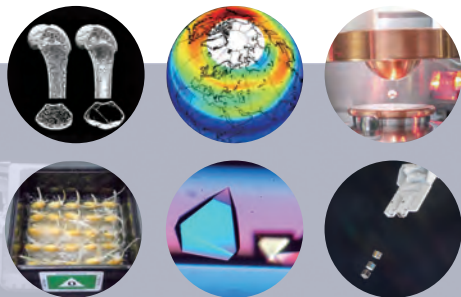
「きぼう」利用シンポジウム事務局
e-mail: jimukyoku@iss-kibo.space

有人宇宙施設である国際宇宙ステーション「きぼう」
日本実験棟において、JAXAは、創薬研究に貢献する
「高品質タンパク質結晶生成」サービスや宇宙環境
での材料評価実験を行う「簡易曝露実験装置利用」
サービス、この度民間移管した「超小型衛星放出」
サービスなど、広く民間や大学に利用いただけるよう、
低価格でのサービス提供に取り組んできました。

さらなる「きぼう」利用への理解と利用促進を目的
として、実際に企業や大学などの「きぼう」ユーザー
を交え、「きぼう」利用の成果や将来の展望などにつ
いて議論をする“「きぼう」利用シンポジウム”を開催
します。

1日目は、「きぼう」利用のこれまでの成果のご紹介と
今後の展望について、2日目は、国際宇宙ステーショ
ンが創出する「市場」や、ISSを通じた日米協力の現
状と今後の計画、それらを踏まえた未来への展望に
ついて議論する企画となっています。

みなさまのご参加をお待ちしております。



「きぼう」利用シンポジウムへの
参加申し込みは

下記のURLまたはQRコードの
特設ウェブサイトから
お願いいたします。

<https://iss-kibo.space/>

参加費無料



p r o g r a m

第1部 「きぼう」利用から始まる価値の創造

2/12 (火)
13:00-18:00

基調講演

「きぼう」における研究成果と今後の展望、国際協力の重要性

話題提供

「きぼう」利用の中核を担う4つの柱を支える研究開発基盤

パネルディスカッション

健康に暮らす社会に向けた宇宙の活用——基礎研究や民間の取組み

パネルディスカッション

宇宙を新薬設計に役立てる——基礎研究から民間利用への拡がり

パネルディスカッション

活動領域を広げる実践場としての宇宙空間——民間利用の成果と事業化への取組み

第2部 国際宇宙ステーションが創る市場

2/13 (水)
10:00-12:00

基調講演

ISSが拓く地球低軌道(LEO)の経済——LEO市場の創出と拡大

対談

LEOの技術革新が社会にもたらす価値

第3部 JAXA / NASA Joint Workshop

13:00-15:40

対談

ISS利用の今後の展望

対談

JP-US OP3の取組みと今後の期待

基調講演

米国における商業利用の現状

基調講演

米国のISS利用の現状と今後の展望

第4部 地球低軌道活動の発展に向けた 今後の期待と展望

16:10-18:00

パネルディスカッション

2025年以降の地球低軌道活動への期待——民間の視点から

※プログラムの内容は変更となることがあります